

様式 4

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 7 年度第 1 回愛川町行政改革推進委員会		
事務局 (担当課)		総務部総務課 内線 3 2 2 5		
開催日時		令和 7 年 9 月 1 1 日 (木) 午後 1 時 0 0 分～午後 2 時 4 5 分		
開催場所		役場 2 階 2 0 1 会議室		
出席者	委員	1 0 人 (欠席 1 人) (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	4 人 (総務部長、総務課長ほか 2 人)		
公開の可否		■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	1 人
非公開・一部公開の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 委員及び職員の紹介 4 議 題 (1) 行政改革大綱第 7 次改訂版の実施状況について (2) 令和 6 年度行政評価制度外部評価結果及び町の検討結果について (3) 令和 7 年度行政評価制度外部評価について (4) その他 5 閉 会		

審 議 経 過

(1 / 9)

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

1 開会

2 あいさつ

3 委員及び職員の紹介

4 議題

（１）行政改革大綱第７次改訂版の実施状況について

【事務局説明】 資料１「行政改革 令和６年度の取り組み結果」について説明

【質疑応答】

○（Ａ委員） 資料１の高齢者ミニデイサービス事業の再構築について、今の説明の中で、二か所で実施していた事業を一か所に統合したとのことであったが、利用者からの苦情や利用者数に影響はあったか。

● 現在のところ、担当課から苦情があったとの報告は受けておりません。また、利用者数への影響については、通年通しての事業となるため、まだ把握ができない状況です。

○（Ａ委員） わかりました。

○（Ｂ委員） この事業と同様の事業を行政区の児童館や公民館を利用してＪＡ県央愛川のあおぞら会が主体となって実施しているため、そういった団体との調整を図りながら進めてほしい。また、厚生労働省が社会福祉協議会を事業主体とした同様の事業に対し、支援をするという考え方があるようですので、このようなことも踏まえて、担当課は、より高齢者対策に貢献できるような事業となるよう検討していただきたい。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄

牛山 久仁彦

審 議 経 過

(2 / 9)

○（Ｃ委員） この資料１は、公表をする資料なのか。

● 資料１については、前年度に行われた行政改革の取り組み結果を紹介する資料であり、毎年度当初に町ホームページでの公開を行っています。

○（Ｃ委員） この資料の中で、フレイル状態の高齢者とあるが、一般の町民がこの資料を見たときに、フレイル状態という言葉に疑問を持つと思われる。解説する内容があって、そういった言葉が使用されるのであれば問題ないと思うが、いきなり出てくると分からないと思うので、一般的な言葉を使うか、注釈を入れたほうが良いと思う。

● 注釈を入れるなど、資料を修正します。

○（Ａ委員） 学校水泳事業の民間委託について、これは学校のプールで授業を民間事業者を実施してもらうのか、それとも民間事業者の施設で実施するのか。

● バスで移動し、民間事業者の施設で実施していただくものになる。

○（Ａ委員） 試行的に２校で実施するとあるが、結果はどうだったか。

● 生徒の意見については、事務局のほうで把握できていないが、授業を受け持っていた先生方は、専門のインストラクターが実施するため、安心だったという意見がありました。

○（Ａ委員） この民間委託がうまく運べば、学校のプール施設は不要ということになってくるのか。

● 多くの学校のプールが建築からかなりの年数が経過していることから、躯体そのものやポンプ等に経年劣化が生じてきており、そうした施設・機器の維持管理には多

審 議 経 過

(3 / 9)

くの費用がかかってしまう。今回は、2校で試行的にという内容であるが、今後、町政を進めていき、プールの授業に係るトータルコストの縮減を図るのが目的となっています。

○(A委員) 今後、学校教育の中で、直接教員がプール授業の指導をする機会や必要性は無くなっていくのか。

● 例えば、海老名市では、既に小中学校でのプールの事業は廃止されており、今後、そういったことになることも考えられる。

○(A委員) わかりました。

○(D委員) 資料1の項目2(3)の記述に、住民課において「書かない窓口」を導入…とあるが、これは導入済みなのか。

● 現在は、まだ入札が終わった段階であり、導入には至っておりません。

○(D委員) 「書かない窓口」について、なかなかイメージが浮かばないが、どういうものなのか。

● 現状では、所定の申請書に住所・氏名等の必要事項を記入していただくこととなっているが、「書かない窓口」では、導入する機器によって仕様は様々だが、一般的には、マイナンバーカードなどを専用の端末に読み込ませることで、住所・氏名等の情報が読み取られ、申請書に情報が自動的に印字されるなど、住民負担の軽減と手続きの迅速化が図られるものになります。

○(D委員) マイナンバーカードなどをもっていない人への対応はどうなるのか。

● 従来の窓口と併用する形となるので、マイナンバーカードなどをお持ちでない方

審 議 経 過

(4 / 9)

も対応は可能です。

● 端末によって、住所・氏名・生年月日といった基本の情報が転記され、それ以外の必要な情報については、相対して職員が補記するなど、極力利用者に書かせることの無い窓口にしたいと考えています。

○ (D 委員) それを今年度中に導入するということか。

● 今年度中に導入予定です。

○ (D 委員) わかりました。

○ (B 委員) 公共施設等総合管理計画の推進について、次回以降で構わないが、現状どのようになっているのか、説明があると良い。

● 現在、公共施設等総合管理計画については、管財契約課の主管となっており、今この場で状況を申し上げることは難しいため、次回以降、例えば来年度の第 1 回場で説明するなどの調整をしたい。

○ (B 委員) わかりました。

○ (A 委員) (4) 健全財政の維持に向けた取り組みについて、効果額 37,287 千円とあるが、これだけの収入があったということか。

● 効果額は令和 7 年度予算を基に算定しています。新たにポータルサイトを追加することにより、歳入と歳出の差額が 37,287 千円見込まれることから、その額を効果額としたもので、決算額ということではありません。

○ (A 委員) 愛川町ではどのような返礼品が人気なのか。

● 内陸工業団地内で製造されているハンドメイドコスメを筆頭に、豚漬けや野菜、

審 議 経 過

(5 / 9)

昨年度だとお米などが人気でありました。

○（Ｃ委員） 今のふるさと納税の関連で、この効果額については、ふるさと納税に係る歳入と歳出の差し引きという事だが、本来であれば、ふるさと納税によって出ていった額、いわゆる税の流出額も換算して、最終的に黒字か赤字かということを町民に示す必要があると思うが、実態はどうか。

● ふるさと納税によって出ていく税の流出額というのは、税務課に確認することで、実績値は分かるが、予算の算出は困難であることから、効果額としてお示しするのは難しい。ただ、Ｃ委員が仰られたように、町がふるさと納税によって、最終的に黒字か赤字かというのを町民にお示しするのは重要であると考え。なお、町においては、ふるさと納税開始当初は赤字でありましたが、その後、順調に寄附額が増加したことで、近年では、税の流出額を含めても同額程度になっています。

（２）令和６年度行政評価制度外部評価結果及び町の検討結果について

【事務局説明】 資料２「令和６年度事務事業評価及び特定分野評価に対する町の最終方針」について説明

【質疑応答】

○（Ｃ委員） 直接関係はありませんが、意見として、９番の自転車通学生徒ヘルメット購入費補助金に関連して、担当課にあっては、なお一層の自転車安全意識の向上に努めていただきたいと思います。

審 議 経 過

(6 / 9)

(3) 令和7年度行政評価制度外部評価について

【事務局説明】 資料3「令和7年度事務事業評価及び特定分野評価の外部評価実施要領（案）」について説明

【質疑応答】

○（C委員） 事業選定の説明をいただいたが、1次評価は実施済みなのか。

● 実施済みです。

○（C委員） 外部評価対象事業の概要という資料中の評価の方向性欄について、これは1次評価の内容が書かれているのか。

● 1次評価の内容や2次評価において論点となりえる課題点等を事務局でまとめたものです。

○（C委員） 外部評価をするにあたっては、対象事業をなるべくフラットな視点で見たほうが良いと思われるため、概要として事務局がまとめた資料ではなく、1次評価結果の一覧表といった資料のほうが適切と考える。

● 第2回までには、事前配布資料として、1次評価結果等も送付させていただくので、そちらを参考にしていきたい。

○（D委員） 10件の事業のうち、この4事業だけが外部評価を希望したというところか。

● 2次評価の対象事業の選定にあたっては、皆様にご意見をいただくにあたり、事業内容が評価者に分かり易く、論点が比較的明確であるとともに、特定の部課に負担が集中しないようにバランス等を考慮し、庁内の委員会で選定したものです。

審 議 経 過

(7 / 9)

○(C委員) 意見として、愛川町の施策展開の中に、子育ての町というのがあり、本委員にもPTAの方が参加されているので、子育て支援策を入れたほうが良いと思う。そういった意味では、今すぐにこの事業が良い、という事業があるわけではないが、畜産振興事業費ではなく、最近の子育て支援策に係る事業を出してもらったほうが良いと考える。

● 今年度実施する事務事業評価の対象事業は選定済みで、既に1次評価も終了していることから、今からの追加というのは難しいが、今後、対象事業の選定にあたっては、C委員が仰られたような内容も考慮して選定したい。

○(B委員) 畜産の話が出ているので、県央愛川農協が来年の11月1日をもって、厚木市農協と合併することとなるが、それぞれの自治体が農協に支出している類似した補助金について、どのように整理していくのか、2次評価の際にお話しをいただきたい。

○(委員長) 先ずは2次評価の対象事業を確定させたいと考える。C委員から、畜産振興事業費は不要ではという意見もあったが委員皆様の意見はどうか。

● 補足として、事務局といたしましてはなるべく多くの事業を審議いただきたいという事で4事業選定したが、昨年は3事業審議していただいた中で、時間的に厳しいところもありましたので、時間的にはタイトなスケジュールになるかとは思います。

○(E委員) 今年度はこのまま進めていいのではないか。来年度に向けては、愛川町は子育て環境を整えると転入者も増えると思うので、子育て施策を取り上げていただきたい。具体的な案があるわけではないが、例えば、現在、中津工業団地第1号公

審 議 経 過

(8 / 9)

園のプールが使えなくなっており、夏休みに子どもたちの行き場が無い状況である。

これを修繕するとか、屋根付きのプールに改修するなど、安全に子どもたちを遊ばせられる環境を整えば良いと思う。

○(D委員) 2次評価対象事業の選定にあたっては、当該年度の事務事業評価対象事業を全て把握したいので、資料に対象事業の一覧といったものがあると良い。

○(委員長) 今お話しにあったように、町が選定しなかった事業についても、2次評価の対象とする可能性もあるので、参考資料として一覧を用意してほしい。ただ、要領にもある通り、対象事業の選定は町が希望する事業を選定することが基本となっているので、そこは押さえていただきたい。

○(委員長) それでは、対象事業としては、このまま4事業とするか、畜産振興事業費を除いて3事業とするか、ということになるがいかがか。

○(C委員) 削るくらいならやってしまったほうが良いのではないか。

○(委員長) それでは、今事務局からお示しいただいている4事業を、外部評価対象事業とすることとしてよろしいでしょうか。

○委員全員 了承。

○(委員長) では、議題の3については以上としたいと思います。

(4) その他

今後の会議日程・報酬支払いに関する手続きについて事務局から説明。

会議録について、委員長、副委員長確認のうえ、承認を委員長に一任とすることに

審 議 経 過

(9 / 9)

ついて、委員全員が了承。

6 閉 会